

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
田園型拠点都市に特有の内水被害の予測技術開発と軽減策の立案(研究期間:H22年~H23年)	新潟大学 安田 浩保	A
<研究概要> 本研究は、内水氾濫の予測技術の開発を基盤技術とし、田園型拠点都市ゆえの水田と都市との治水上の相補性に着目した内水氾濫の軽減案を提示を目的とする。具体的には、(1) 低水深かつ挙動が緩慢な浸水現象の予測計算法の開発、(2) レーザプロファイラデータの特性を最大化させる地形適合セルの自動生成技術の開発、(3) 実流域の再現計算と河川に対する水田の貯留機能による負担についての考察を行った。		
<事後評価コメント> 本研究では、水田地帯の内水氾濫の予測手法を開発したうえで、水田を治水補完機能を導入した場合の被害ポテンシャルの評価と軽減策の提案をしており、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、本件研究での軽減策と他の計画手法の比較により、その優位性についての検討を進めることを期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い